# 3　石狩の交通と運輸

**●道路**

管内の道路は、延長が10,267.7kmで全道の11.4%を占めており、改良率・舗装率では全道平均を上回っています。このうち55.3%にあたる5,680.7kmが札幌市内となっています。

**●鉄道**

管内の鉄道は、幹線系３線区（函館本線、千歳線、石勝線）、地方交通線１線区（札沼線（学園都市線））の４線区があります。

**●都市交通**

札幌市内を運行する地下鉄は、国内初のゴムタイヤ方式により、全国では４番目の地下鉄として昭和46年12月に南北線が開業し、その後、昭和51年6月には東西線が、昭和63年12月には東豊線が開業し、３路線の総営業キロは48.0km となっています。

また、路面電車は、1系統8.9kmが運行しています。

**●空港**

管内の空港は、新千歳空港と丘珠空港の２つがあり、令和４年度は合わせて年間約1726万人の利用がありました。

東京、大阪などの国内31都市と、国外26都市（ソウル、大邱、釜山、清州、北京、天津、上海、杭州、南京、大連、青島、無錫、福州、成都、香港、台北、高雄、シンガポール、バンコク、クアラルンプール、マニラ、ホノルル、ユジノサハリンスク、ウラジオストク、ヘルシンキ、シドニー）を結ぶ航空ネットワークを形成していますが、コロナウイルス感染症等の影響により一部運休中のため、令和５年９月末時点で８都市（ソウル、釜山、北京、上海、香港、台北、バンコク、シンガポール）のみ運航しています。

■都市間距離早見表　単位：km（距離は大まかな目安です）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 35 | 25 | 67 | 65 | 46 | 30 | 10 | 新篠津村 |
| 25 | 15 | 63 | 55 | 37 | 20 | 当別町 | |
| 16 | 29 | 55 | 46 | 34 | 石狩市 | | |
| 19 | 22 | 33 | 42 | 北広島市 | | | |
| 30 | 33 | 9 | 恵庭市 | | | | |
| 39 | 42 | 千歳市 | | | | | |
| 21 | 江別市 | | | | | | |
| 札幌市 | | | | | | | |

（石狩振興局地域創生部地域政策課調べ）

■管内鉄道の現況　（令和５年４月１日現在）

| 線区名 | 区　間 | 管内 | |
|---|---|---|---|
| | | 駅区間 | キロ程 |
| 函館本線 | 函　館～旭　川 | 豊　幌～ほしみ | 42.5km |
| 千歳線 | 白石～沼ノ端 | 白　石～新千歳空港 | 40.8km |
| 札沼線（学園都市線） | 桑　園～北海道医療大学 | 桑　園～北海道医療大学 | 28.9km |
| 合計（3線区） | | | 112.2km |
| 全道（14線区） | | | 2372.3km |

（石狩振興局地域創生部地域政策課調べ）

■管内都市交通の現況

| 路　線 | | 区　間 | 営業キロ |
|---|---|---|---|
| 地下鉄 | 南北線 | 麻生～真駒内 | 14.3 km |
| | 東西線 | 宮の沢～新さっぽろ | 20.1 km |
| | 東豊線 | 栄町～福住 | 13.6 km |
| | 合計（3路線） | | 48.0 km |
| 路面電車 | | 西4丁目～西4丁目 | 8.9 km |

（石狩振興局地域創生部地域政策課調べ）

■空港別施設概要

| | 供用開始 | 滑走路 | 面積 | 設置管理者 |
|---|---|---|---|---|
| 新千歳 | 昭和63年7月 | 3,000m×60m 2本 | 728ha | 国土交通大臣 |
| 丘珠 | 昭和36年11月 | 1,500m×45m 1本 | 103ha | 防衛大臣 |

■空港別国内線年間乗降客数及び貨物取扱量の推移

［乗降客数］　（単位：千人）

| 区　分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新千歳 | 17,601 | 17,829 | 18,561 | 18,824 | 19,598 | 19,777 | 19,507 | 6,436 | 9,229 | 16,949 |
| 丘　珠 | 162 | 174 | 179 | 214 | 251 | 266 | 267 | 162 | 196 | 320 |

［貨物取扱量］　（単位：トン）

| 区　分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新千歳 | 212,171 | 209,903 | 205,279 | 194,178 | 192,275 | 165,080 | 151,934 | 102,343 | 106,048 | 126,530 |
| 丘　珠 | 7 | 10 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

国土交通省「空港管理状況調書」

■新千歳空港国際線年間乗降客数及び貨物取扱量の推移　（単位：千人，トン）

| 区　分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 乗降客数 | 1,344 | 1,702 | 2,278 | 2,721 | 3,495 | 3,858 | 3,308 | 10 | 101 | 929 |
| 貨物取扱量 | 6,972 | 10,869 | 9,639 | 10,515 | 16,931 | 23,037 | 16,118 | 12,714 | 13,074 | 6,298 |

国土交通省「空港管理状況調書」

（石狩振興局地域創生部地域政策課調べ）

路面電車の低床車両（札幌市）

新千歳空港（千歳市）

## ●港湾

石狩湾新港は、日本海に面し、石狩市と小樽市の両市に位置する、札幌市に最も近い（札幌市中心部から約 15km）管内唯一の重要港湾です。背後の石狩湾新港地域は、道央圏の新たな生産・流通基地を創出するものとして、昭和 53 年から開発が進められ、現在約 750 社の企業が立地し、操業企業約 690 社、就業者数は約 20,000 人にのぼっています。

港の建設は昭和 48 年に着手し、昭和 57 年に東埠頭、昭和 63 年に花畔埠頭、中央埠頭、平成 3 年に樽川埠頭を順次供用開始し、平成 18 年に西地区で水深 14m岸壁を有する国際物流ターミナルを供用開始しました。平成 25 年には、防災力強化のために耐震強化岸壁を花畔埠頭で供用開始し、令和 2 年 12 月現在で水深 14m 岸壁 1 バース、水深 13m ドルフィン 1 バース、水深 10m岸壁 6 バース、水深 7.5m 岸壁 12 バースの計 20 バースを供用開始しています。

また、令和 3 年には、水深 12mの岸壁整備などを進める「東地区国際物流ターミナル事業」が国の新規事業として採択されました。

平成 6 年に出入国港の指定を受け、国際貿易港として開港し、平成 11 年に植物防疫港、平成 12 年に動物検疫港、平成 15 年には国土交通省から広域的なリサイクル企業の立地に対応するリサイクルポート（総合静脈物流拠点港）、平成 17 年には検疫港、平成 24 年には、港則法上の特定港と順次指定を受けています。

平成 9 年には、韓国釜山港との間に外貿定期コンテナ航路が開設され、現在、韓国航路では週 1 便、中国・韓国航路では週 2 便体制をとっています。

またコンテナヤードには、平成 13 年にガントリークレーンの供用が開始され、令和 2 年には 2 基目となるガントリークレーンが整備されました。

このほか、平成 15 年 4 月には、内閣総理大臣より重量物輸送の効率化を図ることが可能となる港湾物流特区の認定を受けています。その後、平成 22 年には、新たな直轄港湾整備事業の着手が可能となる「重点港湾」に選定され、翌年には LNG 機能に係る「日本海側拠点港」にも選定されています。

特に中央埠頭では、平成 24 年 11 月に北海道ガス（株）が北海道で唯一となる外航船に対応したＬＮＧ輸入基地の運転を開始し、翌年からは内航船によるＬＮＧの輸送が始まっています。

また、西埠頭では、平成 31 年 2 月より北海道電力（株）がＬＮＧ火力発電所の運転を開始し、北海道のエネルギー供給拠点として重要な役割を担っています。

このような発展を続ける本港は、令和 4 年の取扱貨物量が、約 544 万トン（速報値）となり、国際貿易港として、益々道央圏はもとより北海道を支える重要な物流拠点となっています。

■取扱貨物の内訳（令和 4 年 1 月～12 月実績）

（単位：t）

| 外貿貨物 | | 内貿貨物 | |
|---|---|---|---|
| 輸出 | 330,477 | 移出 | 230,441 |
| 輸入 | 3,739,879 | 移入 | 1,931,493 |

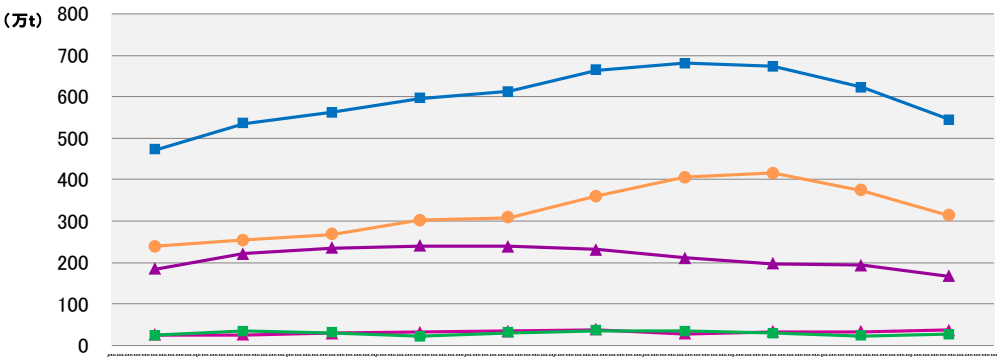
（石狩新港管理組合調べ）

石狩港湾全景

中央埠頭（LNG 船/LPG 船/LNG タンク）

花畔埠頭（ガントリークレーン）

■貨物取扱量の推移（過去 10 年）




| | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総　数 | 4,729,811 | 5,350,535 | 5,624,655 | 5,956,734 | 6,130,455 | 6,641,027 | 6,803,381 | 6,737,166 | 6,232,290 | 5,449,392 |
| 輸　出 | 250,869 | 254,973 | 291,592 | 319,526 | 349,055 | 375,658 | 285,217 | 328,190 | 330,477 | 374,093 |
| 輸　入 | 2,383,686 | 2,542,482 | 2,673,878 | 3,025,961 | 3,086,566 | 3,595,982 | 4,056,246 | 4,154,662 | 3,739,879 | 3,139,859 |
| 移　出 | 248,649 | 341,898 | 309,079 | 213,301 | 308,762 | 361,744 | 349,240 | 287,098 | 230,441 | 262,526 |
| 移　入 | 1,846,607 | 2,211,182 | 2,350,106 | 2,397,946 | 2,386,072 | 2,307,643 | 2,112,678 | 1,967,216 | 1,931,493 | 1,672,914 |

（石狩新港管理組合調べ）